

「数理データサイエンス教育普及展開シンポジウム」を開催しました

2021年6月28日(月)琉球大学において、「数理データサイエンス教育普及展開シンポジウム ～すべての県内大学生へデータサイエンスを Part3～」(主催：琉球大学、共催：おきなわ数理データサイエンス教育連絡会)を開催しました。

はじめに、琉球大学国際地域創造学部の瀬口教授から、琉球大学は令和元年度より数理データサイエンス教育強化事業の協力校に選定され、沖縄県内へ数理データサイエンス教育の普及展開を推進しており、この度、その具体策として「琉球大学数理データサイエンス教育動画コンテンツ」を完成させたとの説明がありました。



オンラインで挨拶する瀬口教授

講演ではまず、琉球大学工学部の岡崎教授から動画コンテンツの趣旨と構成について説明があり、「データサイエンス概説」という題目で、コンテンツの具体的内容や学習成果の分析といった実施状況も含めた紹介がありました。

動画コンテンツタイトル

導入 (社会におけるデータ/AI利活用) 科目名: **データサイエンス概説**

第1話 数理データサイエンスとAIの基本的理解 (13:01) 岡崎担当

第2話 社会で活用されるデータ (7:37)

第3話 データサイエンスで使われる技術 (9:10)

基礎 (データデラン) 科目名: **データサイエンス基礎演習**

1: イントロダクション&データサイエンスの簡単な紹介(9:49)

2: 大学共通テストを題材とした 基礎演習_1 変量統計(44:02) 山田担当

3: 大学共通テストを題材とした 基礎演習_2 変量統計(20:58)

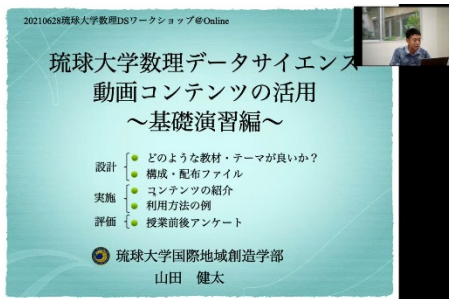
4: 統計分析の注意点(ex.外れ値) (11:53)

5: まとめ (1:59)

2021/6/28 数理データサイエンス教育普及展開ワークショップ 10

「データサイエンス概説」について紹介する岡崎教授

続いて、琉球大学国際地域創造学部の山田准教授から「データサイエンス基礎演習」という題目で、コンテンツの題材・テーマや履修者の状況に応じたコンテンツ利活用方法について紹介がありました。



「データサイエンス基礎演習」について紹介する山田准教授

その後、質疑応答では、オンライン参加者から、履修のタイミングや著作権の取扱い、民間企業での活用策について等、活発な意見交換が行われました。

ワークショップへは、大学教職員、高等学校教員、民間企業など、県内外から約 50 名の方にご参加いただきました。事後アンケートにおいても、9 割以上の方に「非常によかった」、「よかった」とご回答いただき、数理・データサイエンス教育の普及展開に向けて、非常に有意義なワークショップとなりました。